



～新入生からのメッセージ～

私は将来、小学校の教師になりたいと思っています。何かを教えることと、子どもが好きな私にこの仕事は最高の職業だと思いました。しかし、現在小学校には、学習が困難で支援を必要としている子どもがいるという事実を知り、そういった子どもに支援できる知識を身に付けたいと思い、植草学園大学に入学しました。



大学生活に不安もありましたが、植草学園大学は学生同士、教職員の方々との交流が多く、親睦を深めることを大事にしているため、早速友人もたくさんできました。勉強は大変ですが、専門的な知識を得るため、仲間同士、学び合い切磋琢磨し、立派な教師になりたいと思います。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 1 年 丸尾 光平
千葉県立東金高等学校出身



数ある大学の中で植草学園大学を選んだ理由は、設備が充実していて、早い段階から実習や、現場を見学できるからです。それは自分の目標に向かって高い意識を早いうちにもてるということで、勉強にも自然と力が入ります。また、とても学生や先生方の雰囲気良く、コミュニケーションを大切にする

理学療法士になるにあたり、コミュニケーション能力の向上を計りつつ、親睦を深めることができるということに魅力を感じました。勉強は大変ですが、とてもやりがいがあります。

患者さんが安心して治療を受けられ、また、患者さんの家族や関係者の心のケアもしっかりできる理学療法士になれるよう、努力を惜みず 4 年間頑張ります。

大学 保健医療学部 理学療法学科 1 年 手塚 洋佑
千葉県立大多喜高等学校出身

～植草学園大学／短大 事務局紹介「実習支援室」～



実習支援室は、実習の事務に関することを行っています。

実習には、小学校教育実習、特別支援教育実習、幼稚園教育実習、保育実習、理学療法学科の臨床実習、介護実習などがあります。

それらは、資格や免許を取得するために必要な実習です。

本学の場合、ほとんどの学生が短大 2 年間、大学 4 年間の中で多くの実習を経験します。どの実習も厳しい実習ですが、夢の実現のために学生たちは事前準備から真剣に取り組んでいます。また、実習先での経験は、学生にとって貴重な体験であり、人間的にもよりよく成長することのできる機会です。

支援室では、これらの実習に対応し、学生、教員、実習先との間の連絡や調整を行い、学生が実習をスムーズに行える環境を作れるようにと考え取り組んでいます。また、学生の実習に対する戸惑いや不安など、少しでも和らげられるような支援を心がけています。

これからも、学生一人ひとりにとって有意義な実習となるよう、学生の立場に立った支援を、実習支援室全員でめざして取り組んでいきます。

実習支援室長 許斐 邦男 (写真:前列左)



植草学園大学・短期大学 カイトブック 2013
間もなく完成!



2013 年度のガイドブック (大学案内) は 6 月下旬の完成に向けて、現在製作が進んでいます。

一日でも早くみなさんにお届けできるように、スタッフ一同頑張って編集作業をしています。

以前に学校説明会やオープンキャンパスに参加してくださった方や、資料請求をしてくださった方には、完成次第お送りいたします。楽しみにしてください!

～サークル紹介「手話サークル Hand☆Peace」～

4 月 7 日と 8 日、大学近くの小倉台公園で行われた「さくらまつり」に参加し、満開の桜の中、手話コース 6 曲の発表に加え、ミニ手話講座や、曲のサービ



スや、小さな子どもやお年寄りの方と一緒に手話したりしました。多くの方が観てくださり嬉しかったです。

発表後は、東京情報大学の方と売店の手伝いをしたり、参加したみなさんでお花見をしたり、充実した 2 日間でした。初めての学外活動でしたが、良い経験となりました。今後も地域とのつながりを大切に、さまざまな活動に取り組んでいきたいです。

代表：大学 発達教育学部 発達支援教育学科 3 年 安藤 恵子



今年の学生モデルです。みんな笑顔が輝いていますね!